



最優秀賞

「台風10号岩手に上陸」(4枚組み)

有田 勉さん 岩手県宮古市

金賞

「川は流れる」

長浦 敏雄さん 長崎県佐世保市



審査講評

尾辻 弥寿雄

日本写真家協会会員
日本リアリズム写真集団会員

総評

応募総数が900点を超え、審査会場いづかにに壮観ともいえるほどの作品が並びました。審査する者としてこんなにうれしいことはありません。

今回の特徴は、多様化するテーマを表現するための手法としての組み写真が多くなりました。一方、棚田や祭りなど、従来から農村

写真の中心となってきた作品にマンネリを感じました。このコンテストの主題である「新・日本の農村」という意味の解釈に、変化が表れてきたと考えられます。

「新」は、新しいと同時に、「今」という時代性を示唆しています。時代性とは、特定の時代を表したり、象徴する出来事を言います。その時から始まったとか、あの事がターニング

個別評

ポイントだったなどです。数年前に、コンテストの優秀作品40年間分を一堂に並べて見る機会がありました。が、見事にそれぞれの時代の特徴や変化を捉え記録していました。まさに、このコンテストの醍醐味であり、意味合いでした。

今年の特徴は、日本列島を席巻した異常気象です。農村や農家に多大な影響を与えた異常気象を避けて、このコンテストは成り立ち

賞	氏名	県名	画題
最優秀賞	有田 勉	岩手県	台風10号岩手に上陸(4枚組み)
金賞	長浦 敏雄	長崎県	川は流れる
銀賞	古屋 治	長野県	田植え
銀賞	石川 賢一	高知県	ハレの日の雨(4枚組み)
銅賞	村上 利行	岩手県	一緒に帰ろっ
銅賞	伊藤 孝司	三重県	大根飛ぶ
銅賞	谷中よしお	和歌山県	梅花咲く
銅賞	川崎 信義	長崎県	ほほえみ
佳作	国岡 洋一	北海道	ブラックアンドホワイトショー(3枚組み)
佳作	出口 博司	北海道	突然の春雪
佳作	保田 基希	北海道	子牛と子猫の会話
佳作	澤口 健治	岩手県	春の水辺
佳作	村上 吉秋	岩手県	田んぼでポーズ(4枚組み)
佳作	中村 邦夫	福島県	田んぼアートの見学
佳作	安部 武	群馬県	婆やの手伝い
佳作	道信タケオ	東京都	里の息吹き(4枚組み)
佳作	深野 達也	和歌山県	静かな農村(5枚組み)
佳作	田中 作夫	島根県	秋のおとすれ
佳作	樋口 琢哉	山口県	黴もばあちゃんも現役
佳作	村田 利子	山口県	絆
佳作	殿川いづみ	徳島県	今日の収穫
佳作	森江 正	香川県	農の原風景を今に
佳作	仲川 幸延	愛媛県	山の幸 海の幸
佳作	安岡 清助	愛媛県	夕日と光に染まる
佳作	雪本 信彰	高知県	どろんこ像?
佳作	後田 ゆみ	長崎県	おおきくなったら のりたいなあ
佳作	吉田 文子	長崎県	みごとに豊作
佳作	竹尾 康男	宮崎県	いも掘り

「新」は、新しいと同時に、「今」という時代性を示唆しています。時代性とは、特定の時代を表したり、象徴する出来事を言います。その時から始まったとか、あの事がターニング

「川は流れる」

長浦 敏雄さん 長崎県佐世保市

「一緒に帰ろっ」

村上 利行 岩手県

「大根飛ぶ」

伊藤 孝司 三重県

「梅花咲く」

谷中よしお 和歌山県

「ほほえみ」

川崎 信義 長崎県

「一緒に帰ろっ」

村上 利行 岩手県

「大根飛ぶ」

伊藤 孝司 三重県

「梅花咲く」

谷中よしお 和歌山県

「ほほえみ」

川崎 信義 長崎県

「一緒に帰ろっ」

村上 利行 岩手県

「大根飛ぶ」

第43回「新・日本の農村」写真コンテスト

現代の農業、農村での暮らし、明るく楽しい事情などをテーマに、農業共済新聞が主催する、第43回「新・日本の農村」写真コンテストの審査会（審査委員長・尾辻弥寿雄Ⅱ日本写真家協会会員、日本リアリズム写真家集団会員）がこのほど開かれ、各賞の受賞作品が決定した。応募総数953点（応募者数277人）の中から、最優秀賞（賞金10万円と盾）には有田勉さん（岩手県）の「台風10号岩手に上陸」（4枚組み）が受賞した。金賞（賞金5万円と盾）は長浦敏雄さん（長崎県）の「川は流れる」に決まった。このほか、銀賞2点（賞金3万円と盾）、銅賞4点（賞金1万円と盾）、佳作20点（記念品）も決定した。最優秀賞から銅賞までの各賞の受賞作品を掲載する。



銀賞

「田植え」

古屋 治さん 長野県下諏訪町



銅賞

「梅花咲く」

谷中 よしおさん
和歌山県田辺市



銅賞

「一緒に帰ろっ」

村上 利行さん
岩手県盛岡市

銀賞

「ハレの日の雨」

（4枚組み）

石川 賢一さん 高知県高知市



銅賞

「ほほえみ」

川崎 信義さん
長崎県佐世保市

銅賞

「大根飛ぶ」

伊藤 孝司さん
三重県四日市市

